



会員の皆様は御元気にお過ごしでしょうか？ 薫風かおる5月の良い時はほんの少いで、雨の多い5月でしたね。又、コロナが終わったかの様な街の賑わいです。まだチョット心配ですが。連休中は海外、国内共に人出は多かったとのニュースでした。今回からよろず通信225号の右にQRコードを付けました。スマホからでも容易にACPCのホームページに入って行ける様になりました。活用して頂きますように

(1)例会

月	実施日時	場 所	テーマ・内容	講師	司会
6月	22日(木) 10:00~	203	私のパソコン活用術 山歩きの楽しみ	吉原	堀居
7月	27日(木) 10:00~	201・202	パソコンの保守管理	豊川	豊川
9月	28日(木) 10:00~	201・202 (予定)	パソコンと本人確認	元浦	小林 (裕)

(2)講習会

月	講座名	実施日時	場所	講習内容	講師	司会
6月	Word 初級講座Ⅱ	10日(土) 13:30~ 17日(土) 13:30~ 24日(土) 13:30~	201 201 201	様々なチラシ 作り	酒井	久保
7月	Excel 初級講座	8日(土) 13:30~ 15日(土) 13:30~ 22日(土) 13:30~	201 201 201	データ入力 表作成	内海	小林 (旬)
9月	フォトムービー 作成講座	9日(土) 13:30~ 16日(土) 13:30~	201(予定) 201(予定)	画像の取り込みと編集 フォトストーリー3を使 って	元浦	仲井
9月 10月	フォトムービー 作成講座	23日(土) 13:30~ 30日(土) 13:00~ 14日(土) 13:00~ 21日(土) 13:00~	201(予定) 201(予定) 201(予定) 201(予定)	ムービーメーカーを使 って	小林 (旬)	吉岡 酒井

(3)サークル

月	実施日時	場 所	テーマ・内容	講師	司会
6月	15日(木) 13:30~	201・202	【インターネットサークル】 チャット GPT を使ってみよう(Bing)	酒井	小林 (裕)

7月	20日(木) 13:30~	201・202	【STサークル】 生活を楽しむスマホ活用術Ⅱ	丹羽	
9月	21日(木) 13:30~	201・202 (予定)	【インターネットサークル】 ライブカメラ色々		

(4) 豆知識

シンギュラリティ(singularity、技術的特異点)

今年に入ってから生成AIの記事が毎日の様に新聞紙上、又メディアを賑わしております。検索サイトの一つなのですが、今までのとはどこが違うのか？

グーグルなどの検索サービスでは調べたい語句を入力すると関連度合いに沿って**既にあるサイトやブログなどのリンクが順番に並べられる**。検索した人がその中から知りたかった答えを探す必要がある。しかし、**チャットGPT**はウェブサイトなどから大量に学習した内容(大規模言語モデルLLM)を踏まえて、**文章をゼロから作り出して回答してくれる**。

日本語でも英語他の言語でも！。質問を何回か重ねた際にも流れを踏まえて別の回答をしてくれる。私達はAIから情報を引き出し、代わりに作業して貰っているつもりでいる。だが逆から見ると情報を得ているのはAIの方です。データの中には著作権侵害、差別や偏見等色々な事象が含まれています。世界的には特に欧州では大いに規制せねば！と言う論調、米国は法的規制は必要ながら、技術開発は進めるべきとの意見です。日本はどちらにも良い顔をしているというのが現状だと私は思っています。中国の開発力を考えると我々も開発を止めるべきでは無いし、どんどん使ってみるべきだと思います。その上で日本人らしい感性でどうするかを考えてはどうでしょうか！今は**Microsoft、Google**にソフト面、ハード面で先を越されている日本ですが、日本が世界に誇る**スパコン“富岳”**の計算手順(アルゴリズム)の処理速度の速さとビッグデータ解析の速さ(ディープラーニング、深層学習)を使って**国産の生成AI**が出来るものと信じてます。既にAI開発を東工大、理研などが開始したそうです。**開発には巨額の資金が必要です**。

日本政府が援助して、日本人の精密さと熱心さで**Bin g**や**Bard**に負けない人工知能(AI)を開発して欲しいものです。又、検索サイトには**フェイク**が付きものです。先日、兵庫県警サイバー犯罪対策課のインターネット“**身近なリスクから身を守る**”の話をお聞きになったと思います。世界ではロシア、中国による**フェイク**のSNSと**デマ**で強引な国境変更が行われています。今後は人間と同様の思考が出来るAIの実現が思っていた以上に早く近づきつつあると言う考え方、“**シンギュラリティ**”があります。これは1950年代にSF作家が使い出した言葉です。簡単に言えば人工知能AIと人間の脳が同じレベルになる、人の能力を超える将来が来ると言う事です。時期は2045頃ではないか？との観測があります。AIの処理能力が人間の能力を越えた時、**主語**は入れ替わります。AIに人間が使われる。さらに極端な話、“**人類絶滅のリスクに**”と言う記事もあります。そこには米国の名だたる大学の先生方の名前も、オープンAIのCEOサム・アルトマン、起業家イーロンマスクの名前も見えます。私世代は昔の米映画、ターミネーターを思い出します。善のターミネーターと悪のターミネーターの戦いを！現在の技術では3Dプリンターでプーチンもバイデンも等身大のアバターの作成が可能で、AI機能で本人の声が聞こえて来ます。怒鳴り合いの喧嘩も想像出来ます。スマホで**核のスイッチ**を押せば今は冗談と言われていることが現実になりそうです。ACPCの豆知識とはかなり離れてしまいましたが、我々が使う範囲ではどなたにも迷惑を掛ける事はありません。又逆に我々インプットする側の情報をAIに与えてしまう事になります。それがAIの大規模言語モデルの一つになります。**この豆知識はチャットGPTが生成したものではありませんよ！34期 堀居正治**